

第47回 風力エネルギー利用シンポジウム 2日目「一般研究発表プログラム」-会場B-

会期：2024年11月28日(金)

会場：会場B ビジョンセンター新橋(1605号室) 及び オンライン(Zoom B)

プログラム：○は登壇者、演題に付した★はポスター発表を含む

セッション 番号	発表 開始時間	受付番号	演 題	発表者	所 属
B1:ライダー I 座長:植田 祐子(WINC)、副座長:西尾 宣俊(電源開発)					
B1- 1	8:45	C000090	FLSの動揺計測に関する研究	○邊見 力1 高桑 晋1 渡邊 慶一郎1 長谷川 聖矢1 糸島 裕樹1 渡邊 翔太郎1 山口 敦2	1. ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社 2. 足利大学
B1- 2	9:00	C000116	DSL同時観測に基づく風況非一様性を考慮したFLSの精度検証	○田中 燈子1 大澤 輝夫1 内山 将吾1,5 小長谷 瑞木1,6 見崎 豪之1,6 濱田 康平2 荒木 龍蔵3 嶋田 進4 谷山 實浩7	1. 国立大学法人神戸大学 2. イー・アンド・イー ソリューションズ株式会社 3. 日本気象株式会社 4. 国立研究開発法人産業技術総合研究所 5. RWE Renewables Japan合同会社 6. レラテック株式会社 7. 東芝エネルギーシステムズ株式会社
B1- 3	9:15	C000043	フローティングライダーシステムを用いた乱流計測のための動揺補正手法の現地実証	○藤本 拓也1 圓尾 太朗1 上田 裕洋1 荒木 龍蔵1 松本 健寛1	1. 日本気象株式会社
B1- 4	9:30	C000045	スキャニングライダー観測からの風速場推定におけるフィッティングパラメータの影響 ★	○栗本 諒太1 ゴイト ジェイ ブラカス1 亀田 孝嗣1	1. 近畿大学
B1- 5	9:45	C000065	スキャニングライダーの鉛直観測性能の定量的評価:エアロゾル条件や気象条件との関連	○金子 滉克1 渡邊 諒一1 池田 貴史1 長田 賢志1 吉川 茂幸1 林 宏典1	1. 一般財団法人日本気象協会
B1- 6	10:00	C000109	観測データと模擬風速場を利用したライダーによる乱流強度計測誤差の原因の考察	○吉野 亜香利1,2 山口 敦2 渡邊 慶一郎3 高桑 晋3	1. 株式会社構造計画研究所 2. 足利大学 3. ENEOS リニューアブル・エナジー株式会社
B1- 7	10:15	C000130	鉛直ライダーを用いた風況観測における10分間のデータ取得サンプル数に関する感度実験	○中里 廉1 大澤 輝夫2 小長谷 瑞木1,2,3 見崎 豪之1,2 水戸 俊成1 吉岡 大秋1	1. レラテック株式会社 2. 神戸大学大学院 海事科学研究科 3. 一般社団法人むつ小川原海洋気象観測センター
休憩(10:30~10:45)					
B2:ライダー II 座長:林 宏典(日本気象協会)、副座長:刈込 界(WINC)					
B2- 1	10:45	C000129	風力発電事業への活用に向けた国産小型水平スキャニング型ドップラー・ライダーの開発	○東 邦昭1 古本 淳一1 宇野 卓矢1 Taylor Nunes1 村上 優1	1. メトロウエザー株式会社
B2- 2	11:00	C000133	複雑な地形に設置された風車のSCADAデータの分析	○本田 明弘1 笹沼 菜々子2	1. 青森公立大学 経営経済学部 2. 弘前大学大学院 理工学研究科 博士後期課程
B2- 3	11:15	C000059	An Analytical Model for Predicting Mean Wind Speed over Complex Terrain Considering the Ratio of Atmospheric Boundary Layer Depth to Mountain Height	○Tong Zhou1 Takeshi Ishihara1	1. The University of Tokyo
B2- 4	11:30	C000089	べき乗則に従わない風速の鉛直プロファイルの研究—荒川だしのLiDAR観測データの事例解析—	○静居 竜大1 中村 祐輔2 内田 孝紀3 日下 博幸4	1. 合同会社も / 筑波大学大学院 2. 立正大学 地球環境科学部 3. 九州大学 応用力学研究所 4. 筑波大学 計算科学研究センター
B2- 5	11:45	C000070	スキャニングドップラーライダーの積分時間による10分値風況計測精度の予備的検討	○渡邊 慶一郎1 高桑 晋1 藤川 凜太郎1 内田 孝紀2	1. ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社 2. 九州大学 応用力学研究所
B2- 6	12:00	C000048	エジプト・スエズ湾風力発電所における大気安定度特性の評価	○市川 弘人1 浅倉 奨之1 内田 孝紀2	1. 株式会社ユーラスエナジーホールディングス 2. 国立大学法人九州大学 応用力学研究所
B2- 7	12:15	C000095	機械学習による数値気象予報補正を用いた洋上風況予報の高精度化の検討	○後藤 和恭1,2 内田 孝紀2	1. 電力中央研究所 2. 九州大学
昼食(12:30~13:15)					

B3:ウェイクI 座長:林 宏典(日本気象協会)、副座長:小長谷 瑞木(レラテック)					
—	—	—	—	—	—
B3- 2	13:30	C000042	ウエイクモデル開発に資する実機風車の後流データ分析	○望月 啓世1 藤川 凜太郎1 高桑 晋1 内田 孝紀2	1. ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社 2. 九州大学
B3- 3	13:45	C000049	風向乱れを考慮したトップハット型ウエイクモデルのロータ平均手法の提案	○藤川 凜太郎1,2 高桑 晋1 渡邊 慶一郎1,2 内田 孝紀3	1. ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社 2. 九州大学大学院 総合理工学府 3. 九州大学 応用力学研究所
B3- 4	14:00	C000086	日本型ウエイクモデルの開発と大型商用風車を用いた実証研究 —その12. 風洞実験、CFD、現地観測および機械学習によるウエイクの現象把握と予測精度考察—	○高桑 晋1 渡邊 慶一郎1 長谷川 聖矢1 藤川 凜太郎1 柏崎 啓人1 馬場 好孝2 村上 礼雄2 肥高 邦彦2 飯野 哲平2 内田 孝紀3	1. ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社 2. 東京ガス株式会社 3. 九州大学 応用力学研究所
B3- 5	14:15	C000041	浮体式風車ウエイク現象の評価技術の研究開発 その6:風洞実験による流入風乱流強度が浮体式洋上風車ウエイクに与える影響の評価	○大城 翔貴1 澁谷 光一郎2 深谷 侑輝1 乾 真規2 谷山 賀浩1 吉田 忠相2 内田 孝紀3	1. 東芝エネルギーシステムズ株式会社 2. カナデビア株式会社 3. 九州大学 応用力学研究所
B3- 6	14:30	C000067	浮体式風車ウエイク現象の評価技術の研究開発 その7:ピッチ動揺する2基の浮体式風車のウエイクの干渉に関する研究	○澁谷 光一郎1,2 大城 翔貴3 乾 真規1 深谷 侑輝3 吉田 忠相1 谷山 賀浩3 内田 孝紀4	1. カナデビア株式会社 2. 九州大学大学院 総合理工学府 3. 東芝エネルギーシステムズ株式会社 4. 九州大学 応用力学研究所
B3- 7	14:45	C000052	浮体式風車ウエイク現象の評価技術の研究開発 その8:DSLのRHISキャンによる風車ウエイクの評価	○齋藤 啓太1 深谷 侑輝1 鹿仁島 康裕1 大城 翔貴1 谷山 賀浩1 乾 真規2 吉田 忠相2 内田 孝紀3	1. 東芝エネルギーシステムズ株式会社 2. カナデビア株式会社 3. 九州大学 応用力学研究所
B3- 8	15:00	C000074	浮体式風車ウエイク現象の評価技術の研究開発 その9:実機風車における風荷重に対するウエイクの影響	○平野 俊夫1 吉水 謙司1 谷山 賀浩1 深谷 侑輝1 倉地 崇人2 神田 裕2 乾 真規3 吉田 忠相3 内田 孝紀4	1. 東芝エネルギーシステムズ株式会社 エネルギーシステム技術開発センター 2. 日本精工株式会社 3. カナデビア株式会社 4. 九州大学 応用力学研究所
休憩(15:15~15:30)					
B4:ウェイクII 座長:菊地 由佳(東京大学)、副座長:吉村 淳(GPI)					
B4-1	15:30	C000022	風車ウエイクの観測および評価手法の検討:その3 スキミングライダーのデータ取得と気象要素の関係	○池田 貴史1 林 宏典1 嶋田 進2 小垣 哲也2 深谷 侑輝3 谷山 賀浩3	1. 一般財団法人日本気象協会 2. 国立研究開発法人産業技術総合研究所 3. 東芝エネルギーシステムズ株式会社
B4- 2	15:45	C000026	風車ウエイクの観測および評価手法の検討:その4 スキミングライダーのデュアル観測によるウエイク観測最適化	○嶋田 進1 小垣 哲也1 池田 貴史2 林 宏典2 深谷 侑輝3 谷山 賀浩3	1. 国立研究開発法人産業技術総合研究所 2. 一般財団法人日本気象協会 3. 東芝エネルギーシステムズ株式会社
B4- 3	16:00	C000051	風車ウエイクの観測および評価手法の検討: その5 複数のデュアルスキミングライダーを用いた洋上風車ウエイクの解析	○深谷 侑輝1 谷山 賀浩1 池田 貴史2 林 宏典2 嶋田 進3 小垣 哲也3	1. 東芝エネルギーシステムズ株式会社 2. 一般財団法人日本気象協会 3. 国立研究開発法人産業技術総合研究所
B4- 4	16:15	C000087	ウィンドファーム内ウエイク可視化ソフトウェア WakeVisの開発	○遠藤 誉英1	1. 東京電力ホールディングス株式会社
B4- 5	16:30	C000113	工学モデルに基づく浮体式洋上ウィンドファームにおけるウエイクステアリング評価	○小倉 悠暉1 涌井 徹也1 望月 航2 夏 一青2 松本 陽介2	1. 大阪公立大学 2. 東電設計
B4- 6	16:45	C000122	風車離隔距離を考慮したウエイクステアリングの有用性検証	○渡邊 翔太郎1 高桑 晋1 渡邊 慶一郎1 糸島 祐樹1 望月 啓世1	1. ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社

B4- 7	17:00	C000088	Porous Disk Wake Modelを用いた大気安定度を考慮した風車ウェイクの精度検証	○浅倉 奨之 ¹ 市川 弘人 ¹ 内田 孝紀 ²	1. 株式会社ユーラスエナジーホールディングス 2. 国立大学法人九州大学 応用力学研究所
B4- 8	17:15	C000100	ポーラスディスクを用いた風車ウェイク気流特性の再現とウィンドファームへの適用	○藤本 信義 ¹ 高田 青 ² 内田 孝紀 ²	1. 九州大学大学院 総合理工学府 2. 九州大学 応用力学研究所
閉会挨拶 永尾会長 (17:30～17:40)					